



ツイッター和歌(十)



多谷昇太

※冒頭のこの和歌は当「みなせ誌73号」内の私の拙作「流れのケンちゃん」を思い出して詠んだものです。出来たらそちらの方もぜひ読んでみてくださいね。

和歌一首：唄和歌174・博多ブルース

えずがり屋どげんするとや?！いつまでも運命に負けてって気持ち一つでっしょ! (By ハナ…)

※えずがり…臆病者(博多弁)

♪♪酒場の隅で博多の言葉聞けばふるえる唇：ああ、東京の夜も泣いている♪というこの歌詞内の博多と東京を替えてみました。なんと今は古希を過ぎたケンちゃん、まだ自分の運命(さだめ)に負けてるんですかね。鉄火肌だった、亡くなったハナもさぞや呆れ返り、怒って(悲しんで?)いるでしょうよ。

(←ユーチューブ・博多ブルース・西田佐知子)

https://youtu.be/SOD1QcUE7zW?si=2xZguYxjMfhqZ_7u

【流れのケンちゃんのイメーじ】

作品より……川から船頭の歌う舟歌が笛や太鼓の音とともに聞こえてくる。「たとえかざした雛じやとて、務

めはたせば流さにやららん。わしも船頭、流れ行く。浮き世の業に染めた身は、雛に免じて、えー、流れ、ただ流れ行こうえー」

(←柳川雛祭り)



和歌一首：唄和歌175・くれない酒場
見つめては男と女つと笑ふ恋とか夢とか…ありやし
なかつたね、と

詞書…この歌の歌詞♪♪プツと笑って見つめればほかに灯りくれない酒場♪♪が私には粹でしたね。だつて、たぶんこれが真実だったからです。恋とか夢とか、みんな言葉だけでした…。しがない男と女でしかかなかつた誰かさんと誰かさんがくれない酒場で酒を酌み交

わします。酒の旨からずや。癒されざるや…。

←ユーチューブ「くれない酒場」唄・黒川真一朗

https://youtu.be/vr6Tx5Napl?si=wqj_F_yrePU0fsci

【Pinterest から拝借しました ↓】



和歌一首：マイベスト歌②&唄和歌178・裏町人生
師走風身切る寒さや冬地蔵凍てる闇夜とかこちたれ
ども

〔意訳〕地蔵が雪を被って寒風に晒らされている。ああ、これはまるで俺の魂が世の苛みに必死に堪えているような姿だな。ちえつ、まったく、理不尽に俺を責めまくる世の中が悪いんだ…と、そう単純に責め返すだけでは済まない話かも？何せ雪風に晒され放置され

ているのはお地蔵様（俺の中の良心）だぜ…？

詞書：「渡る世間を舌打ちで、すねた私がなぜ悪い？」という左記ユーチューブ「裏町人生」内の歌詞は、「これはまるで上記の私の和歌のようです。ですが果してそうでしょうか？敢て自分にこう問いたいが「それで済むか？」と。ひよっとして、お地蔵様を闇夜の雪風に晒させているのはすねた己の心自身ではないかと思うからです。だったら「甘ったれるのもいい加減にしろ！」と自責したくなっています。

←ユーチューブ・裏町人生・上原敏&結城道子

<https://youtu.be/IOWYLj6LfZk?si=EmlKINOUjBwRMYFD>

【Lapis bleues さんの作品、pixabay から拝借 ↓】



和歌一首：クラシック④魅惑の午後

稀有なりき魅惑の午後の楽の音にわが身を知らず高貴に染まる

詞書…某慈善コンサートにて漆原朝子さんの演奏を聞く。本邦最高のバイオリンニストの演奏にただ酔いれました。

※ストーリーカーゆえの我が身の悲惨さ、そして貧老という我が身分をも打ち忘れて…。

(←ユーチューブ・漆原啓子さん)

<https://youtu.be/m0p1IaZi4HQ?si=AswvmsDcNlK2aNB>

【Pinterestより拝借 ↓】



和歌一首：唄和歌179・昔聞いたシャヤンソン

老ひの目に幸(さきは)ふ人ら羨(とも)しかり回る回るよメリーゴーランド

詞書…今が花の恋人たちや家族連れ、会社勤めの人達が私の目の前を通り過ぎて行くよ。ああ、この人達が羨ましいことだ、そして微笑ましいことだ。私はもう73：メリーゴーランド(幸せが廻る場所)とはよく云ったもので、老いた私の目にはそこから流れるオルゴールの響きともども幸せの走馬灯のように思える。まあ、皆さん、せいぜい人生をお楽しみなさい。私は昔きいたシャヤンソンを口ずさんでいきましょう…。

(←さとう宗幸・昔きいたシャヤンソン)

<https://youtu.be/5KH6oa1PC0?si=0zbUmkbTnU45TUJ>

【 ↓ from Pinterest】

